

テーマ

眼をひらく心をひらく

— 今を生きる我が身をみつめて —

開催趣旨

日本は物質的に豊かになり、医療技術の進歩により世界有数の長寿国になりました。

しかし、年配の方から「長生きはしたいけれども、年は取りたくない」という声が聞かれます。何か年を取ることが情けない、病気になることが人間としての価値が下がるかのように思われています。本当にそうなのでしょうか。

また、人が生まれ死んでいく場所が自宅から医療機関に移り、生死が遠い存在となってきたいます。「生きがいとは、死にがいだ」という言葉がありますが、生のみを大事にして死を向こうに追いやる時代は、生そのものがぼやけているのではないのでしょうか。人間は生まれた以上、誰もが死すべきいのちを生きています。仏教は「生死いづべき道」を課題にしていますが、本当の豊かさとは何なのでしょう。か？ どういういのちを生きようかと思っているのでしょうか。改めて、自分のいのちそのものに向き合ってみてみたいと思っています。

● 講師紹介

田畑 正久 (たばたまさひさ) 氏



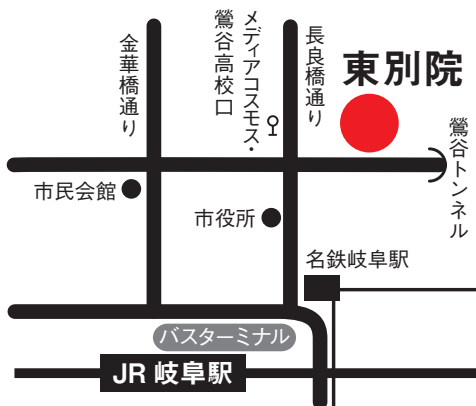
一九四九年大分県生まれ。九州大学医学部卒業。在学中に細川巖師に出会い、浄土真宗のお育てをいただく。現在、佐藤第二病院院長。龍谷大学大学院教授。大分大学非常勤講師として「医療と仏教の協力関係」構築に取り組んでいる。「医療と仏教の協働」を願って結成した「ビハラー医療団」が平成二十七年第四九回仏教伝道文化賞沼田奨励賞を受賞。

一九四九年大分県生まれ。九州大学医学部卒業。在学中に細川巖師に出会い、浄土真宗のお育てをいただく。現在、佐藤第二病院院長。龍谷大学大学院教授。大分大学非常勤講師として「医療と仏教の協力関係」構築に取り組んでいる。「医療と仏教の協働」を願って結成した「ビハラー医療団」が平成二十七年第四九回仏教伝道文化賞沼田奨励賞を受賞。

日程

16時	15時30分	14時	13時30分	13時	12時30分
閉会	質疑応答	講議 【講師】田畑 正久氏 【講題】『人間に生まれて良かった、生きてきて良かった』と言える人生 — 健康に老い、健康に病み、健康に死んで往く —	発題	開会	受付

有縁の方々をお誘い合わせてご参加ください



● 岐阜バス

JR岐阜駅バスターミナル⑫⑬番のりばより乗車、メディアコスモス・鷹谷高校口下車 (バスにて10分)

問合せ

真宗大谷派岐阜教務所 / 岐阜市大門町1番地 Tel.058-266-1378 Fax.058-266-1392